

# 台風情報の今

青森県では梅雨が明け、夏真っ盛りとなりましたが、台風が気になる季節にもなりました。本号では、台風情報に関する最近の動向と台風への備えについて紹介します。

## 【台風強度予報の5日先までへの延長】

これまで気象庁が発表する台風に関する強度（中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域<sup>※</sup>）の予報は3日先まで、進路の予報は5日先まででした（図1上）。このように、強度の予報の方が短いのは、進路の予報に比べて難しかったためです。気象庁では、平成30年（2018年）6月に更新したスーパーコンピュータシステムによる計算能力の向上や、台風の強度をより正確に予測するための技術開発を行ってきました。その結果、平成31年3月14日からは、台風の進路・強度ともに5日先までの予報を提供できるようになりました。防災対応における一層の活用が期待されます（図1下）。



図1 気象庁ホームページの表示イメージ

また、台風の暴風域<sup>※</sup>に入る確率情報も、以前の3日先までから5日先まで  
に延長しました。地図上で、暴風域に入る可能性が高い地域を知ることができ  
たり(図2)、地域毎に、暴風域に入る可能性が一番高い時間帯を調べることも  
できます(図3)。

なお、これらの台風に関する情報は1日4回発表し、気象庁ホームページ<sup>※</sup>  
から閲覧することができます。

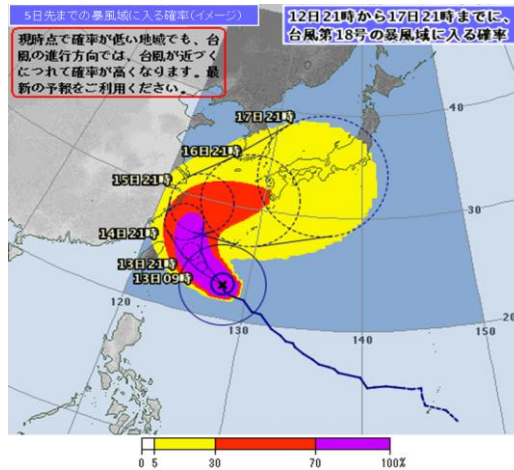


図2 台風の暴風域に入る確率(分布図)のイメージ

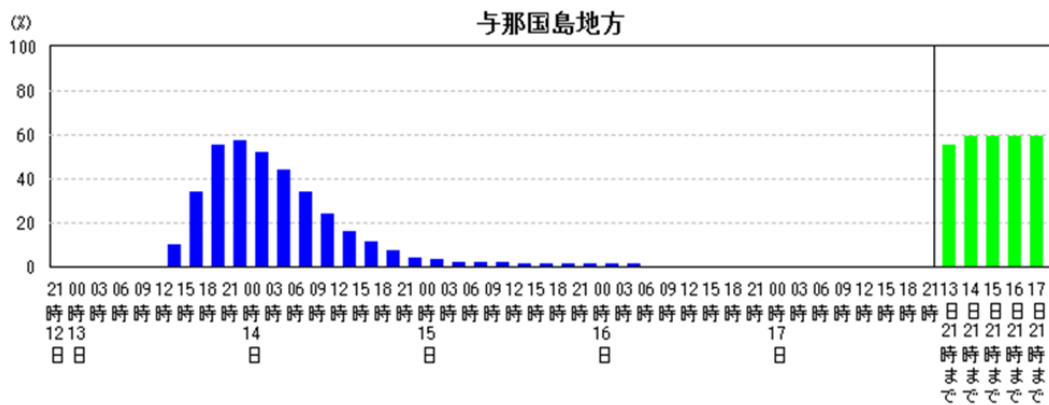



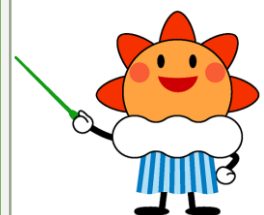
図3 台風の暴風域に入る確率(地域ごとの時間変化)のイメージ

※

**暴風域** : 台風の周辺で、平均風速が 25m/s 以上の風が吹いているか、地形の影響などが無い場合に、吹く可能性のある領域。通常、その範囲を円で示す。

**暴風警戒域** : 台風の中心が予報円内に進んだときに、暴風域に入るおそれのある領域。

● 台風情報  
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

## 【台風への備え】

台風により、毎年大きな災害がもたらされますが、先に紹介した台風情報や気象台が発表する警報などの防災気象情報を活用することで、被害を未然に防いだり、軽減することができます。ここでは、台風への事前の備えについて紹介します。

### 1. 家の外の備え

大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する。



### 2. 家の中の備え

#### ●非常用品の確認

- ・懐中電灯 ・携帯用ラジオ（乾電池） ・救急薬品 ・衣類
- ・非常用食品 ・携帯ボンベ式コンロ ・貴重品など

#### ●室内からの安全対策

飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。



#### ●水の確保

断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。

### 3. 避難場所の確認など

- 学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。
- 普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。



(この原稿の作成 木村)



国土交通省 気象庁 青森地方気象台  
〒030-0966 青森市花園一丁目17番19号  
電話017-741-7411



気象庁ホームページ： <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>  
青森地方気象台ホームページ： <https://www.jma-net.go.jp/aomori/>